

紫雄 第二十七号

若林先生からの一言 若林幸男

OBOGのご活躍について

二〇〇四年十月十一日



先日、九月中旬に、学務がほぼ一段落したので調査のために、北九州に行つてまいりました。調査先は八幡製鉄所ですから、小倉ベースで、福

岡には用事はないのですが、一泊しました。福岡在住近年の卒業生と会おうと思つたからです。七期堀内と九期浅野、木元と会ってきました。なんと飲み代は私持ちということを念頭しておつたのですが、酔つた堀内が卒業生で割りカンにしてしまいました。考えたら、堀内が一番先輩だから一番出したのか、それともこれは、平等の若林ゼミ精神が発揮されたのかは定かではありません。その足で中州屋台に行きラーメンを食べました。順番待ちの長い列があつたのに、堀内が店の人と話して、列の先頭に入れてもらいました。これって横入り？堀内は、「私

の営業力を見たか？」と自慢しておりましたが、何となく、やっぱり横入りだったと今は確信しております。堀内は、AGF、今は組合支部長ということ、浅野は（彼女できた！）日本ビクター福岡支店、ひよつとすると、十月には転勤で鹿児島にいる？木元は、税理士試験の勉強中、みんな元気で、学生時代とあまり変わっておりませんでした。以上、先輩たちのご活躍をご報告しました。

十二期ゼミ長挨拶

堀内正貴



若林ゼミの一員となつて一年が経とうとしています。私がこのゼミで学んだことは、自発的に行動しなければ

成果は自分には返つてこないということ、共同体の中で個々に役割が与えられることによつて責任感とやり甲斐が身につくということ、将来を悩む時期に、互いに意見を交換できる仲間や、アドバイスを下さる先生・先輩方をゼミで得られるということ、などです。若林先生はコミュニケーションを大事に考えて下さつて、また、生徒の自主性を重んじる方

なので、授業も自分達が主体となつて進めていきます。前期の授業は、図書館ツアーに始まり、日銀・東証見学や、奨学論文での企業訪問など、代々このゼミの特徴であるフィールドワークが主体となつて、実際肌で感じるこの面白さを経験しました。

第十二期若林ゼミ生役職紹介

ゼミ長	堀内 正貴
副ゼミ長	土居 望
記録	仲谷 美都
人事	田中 謙
会計	山田 美穂子
H P M	小島 隆志
	柴原 正幸
教務	安川 沙紀
ゼミ協	朝日 諒介
連絡情報	香野 洋樹
渉外	富野 雄介
	川井 葉月
F W ・ ティベート	島田 有佳里
O B 会	嶋邑 公美子
	山内 麻由香
合宿	安実 祥子
紫雄	松橋 真美
	谷地 晃佳

第十二期生 奨学論文つつ！

そーれっ



十月一日、長かった論文生活に終止符を打った。朝一で提出した自己満三人娘『中食班』、余裕を持つての提出、しっかり者揃い『小売班』、提出制限時間十六時を少々過ぎての、焦りまくり『湯楽班』、『駄菓子班』。みんな無事提出できて本当によかった。達成感！みんな、よくがんばりました！その日のトミーの誕生日パーティーを兼ねての打ち上げビールは格別だった。

湯楽班 (陸和商事)

田中 謙
富野 雄介
川井 葉月
島田 有佳里

湯楽班は、男二人、女一人で構成された、とても仲の良い四人組であったと思います。結成当初は、



温泉に入る目的での小旅行や、美味しいものを食べに行く計画があがっていたものの、論文の主題や構成が変更する度に、素敵な計画が現実的な焦りへと、決まって深夜に変化していったのを憶えています。しかし、フィールドワークで伺った陸和商事では、インタビュー終了後に、贅を極めた海鮮料理や旨い酒をご馳走になりながら、山浦社長の粋なお話を頂けるなど、笑いが絶えない晩もありました。向かう道中は不安や緊張で口数の少なかった四人が、解散し、別々の帰路につく電車内や地下鉄のホームで、ニヤニヤと薄ら笑みを浮かべるまでに変わっていたのを憶えています。論文作成を通じて出会った人達に支えられ、助けられて、メンバー内の結束を強めることができ、無事に論文を提出することができたと感じています。

駄菓子班 (やおきん / うまい棒の巻)

柴原 正幸
土居 望 (兼 梓)
朝日 諒介
松橋 真美
谷地 晃佳



我々駄菓子班は幸先のいいスタートをきれた。七月に入りいきなりFWとして、「株」やおきんに行きました。担当の酒井さんに本当によくしても

らい大好きになれました。先生はここに就職したいっておっしゃるほどのお気に入りみたいです。とんとん拍子で行くと思った最中、リー・朝日様が合宿の2週間前にバイク事故を起こしてしまい、駄菓子班に激震が走ったとか走らないとか。井の頭公園でのアンケート調査では、松橋さんとせずえさんが出会いました。望君は家の近くで調査していたら警察のお世話になりました。FWとしては孝太君のおば



かいいません。しかも専門学校に通いだしました。忙しいのに。谷地が怒っています。途中入院で抜けたくせに調子にのろろとするリー様、半端無く容赦ないだめだしCHECKERまみちゃんはこわかったです。大詰めでリアルホームレスになる望君は悲惨でした。だから火事と事故には気をつけなさいよ。保険金がかぼり狙いなさいよ。そんな中、班の中和剤として谷地がうまくまとめました。なんだかんだで、みんな力を合わせ本気で頑張ったんです。こくいいものが出来上がりました。お世話になった方々に最大級の感謝を送ります！

さんが経営している駄菓子屋で生の声をいただき、孝太君とおばさんが目を輝かせていました。論文も追いつき、い込みにし掛かると、小声の隊長・柴原は俄然小声に磨きがかかり、「んー」とし

中食班(オリジン弁当) 女三人中食班メンバー

嶋邑 公美子
安実 祥子
山内 麻由香



この班は、かなり気楽に楽しく論文作成が出来ましたね。女三人ですので、集まるといつても論文作成会議と称した井戸端会議のようなもので、最初の1、2時間は必ず論文と関係のない世間話や恋愛話で盛り上がっていました。

そんな話題でみんながヒートアップしてきた頃、お題を論文へチェンジ！いつもこんな調子でした。

私達の班の最大の特徴は、完璧な自己満足主義者が三人揃っていることであり、三人揃った時の論文に対しての自己満足はいつも最高潮で、「うちら、すごくない？すごいよ！できる子……」とよく言っていたのがとても懐かしいです(笑)。

論文は二転三転しましたが、はじめから一貫して変わらないのは、『食』に関するテーマだということ。

『食』は女三人班メンバーにとって生きる活力源！且つ幸せの素……であり、このテーマにはこだわりを持っていました。そのこだわりを貫き通したため、最後まで楽しんで論文作成が出来たのではないかと思います。

何事も純粹に楽しみながら取り組むと、多少の努力はあまり苦にならないのでは？とつくづく思いました。こんな具合で、遊びと勉強を同時に楽しめた自己満足300%の論文作成でした。乾杯

小売班(アメ横)

堀内 正貴
香野 洋樹
小島 隆
仲谷 美都
安川 沙紀
山田 美穂子



私たち小売班は六人と多人数だったため、各自忙しい中で都合を合わせるのがまず大変でした。全員が揃って話せる時間も限られているのに、ようやく集まれたところで、ゴハンを食べて眠くなってしまったり、考えがうまくまとまらず行き詰ってしまったりすることも…。集まる時間が少ない分、思いついたことを掲示板に書き込んだり、論文の中で自分の書いた部分をアップロードしたりとネットをフル活用しました。アメ横の路上で実施したアンケートもなんとか集まり、ようやく論文として形となったのが九月半ば。焦りつつも提出直前まで修正を加え、仕上がったときには心も晴れ晴れでした！ほんとに皆おつかれさまでした。

目指せ 一番星！



平成十六年度 若林七生 卒業報告



①春合宿

三月一日から三日まで、山中湖のセミナーハウスで春合宿が行われました。春合宿で行うイベントなどの準備のため、十二期全員は二月中から集まり資料集めに没頭しました。と同時に、明大マーケットで「フルーツバスケット」と「だるまさんが転んだ」に毎回夢中になりました。「フルーツバスケット」で一人取り残され、みんなの輪の中心で「みんなの注目浴びてるの案外気持ちいいっ！(北島)」とキリッとしていた祥子、「だるまさんが転んだ」で鬼になり、勢いよく両足で踏み込んで見事にこけた麻由香が懐かしい。ま〜ゆか〜(どーん)。この集まりのおかげでみんなの緊張が解けて、合宿へのモチベーション上げれたと思います。でも、合宿前日

はみんな課題に追われ、合宿初日は寝不足でスタートしたのでありました。

しかし、夜の飲み会では再び気分が盛り返しました。夜な夜な先輩方と一緒に戦った大貧民では小さい美穂子の負けず嫌いが発覚し、そして酔っ払ったゆきん子さんのかわいさにみんなが



酔い、無事一日が過ぎていきました。そしてすぐに起床の時間。私たちの寝不足はまだまだ続く。

先生の始球式から始まった二日目のボーリング大会では、再び負けず嫌いの美穂子が力を発揮か！と思いきや、ボーリングにはめつきり弱い美穂子ちゃんでした。合宿の疲れを癒すべく行った温泉は、ほんとに気持ちよかったです。今度はさきん家温泉、この合宿で、先生、先輩方の優しさに触れ、同学年とも仲良くなれて、これからのゼミ活動が楽しみになりました。まだ、ゼミに馴染んでいなかった私たちの気持ちをこのように盛り上げてくださった先生、先輩方、ありがとうございました。

②日本銀行訪問 谷地のるるる日記



もう夏の日差しに近づき始めた六月二十九日、私たち十二期は初めてのフィールドワーク先である日本銀行へと赴きました。始めて見た日本銀行は想像とはまったく異なり、とてもモダンな造りでおし



やれな雰囲気か漂っていました。歴代の日銀総裁の肖像画を見ているうちに、二期女好き代表トミーの肖像画と一緒に掛かってても違和感ないな、なんて思ったりして。

最後の日銀への質問タイムでは、「社内恋愛な

どあるのですか」といつの望のちよつといたずらっ子の質問に「あると思いますよ」との微笑ましいお答え。ノンちゃん、このまま日銀に就職しちゃうんじゃないかな、なんて思ったりして。

あああ。今日も楽しかったなあ。いっぱい汗かいたからおふるはーいっつっ。

③ゼミ対抗バレーボール大会

六月十二・十三日、私たちはトミープロデュース「YUKIO WAKABAYASI PARIS」のブランドTシャツを着て、バレーボール大会へと望んだ。バレー部「コジハラ」こと小島と柴原、そしてま〜ゆか〜をリーダーに我々十八人は戦いへと向かった。そこで見たものは、短すぎる白いハーフパンツに細すぎる白い足を露出したコジのすさまじいジャンプ力。我々は皆感嘆を上げ見とれ、思わずボールを落としたりした。しかし、それをサポートしそのボールを拾い上げるしぱつち。すごい、すごい



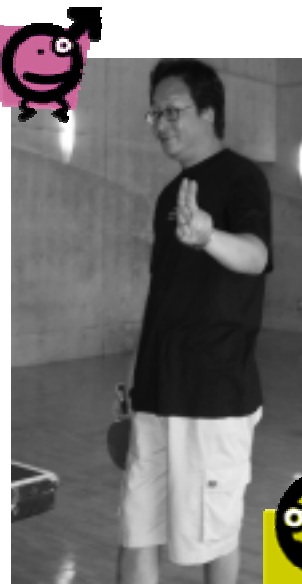
ぎる。この二人のチームワークの良さ、仲の良さを、もう誰も邪魔できない。邪魔したい。邪魔できない。邪魔したい……。その結果、リーグ二位となり、カラカラの心を潤しに早速その足でつば八へと向かった。そこには、我々の戦いを陰で支えて下さった十期十一期の先輩方、そして「YUKIO WAKABAYASI PARIS」のモデルである先生とともに、心行くまで祝杯を挙げたのであった。

④納会

七月十五日、若林ゼミナール前期は無事に終了しました。先輩方の就職活動も一段落し、来年はもう我々の番なのかと、大学生活の時間の進む速さに驚きを隠しきれません。しかし、大学生活二年半を振り返ると、楽しい仲間や経験が増えていることに喜びを感じます。これからきつと、つらいこと・苦しいこともたくさんあると思いますが、このゼミの仲間達と共にがんばり、後にまた振り返ったとき、充実していたと思えるような生活をこれから送っていきたいと思います。先輩方、本当にお疲れ様でした。



⑤夏合宿



夏合宿は、八月二十九日から三日間、清里のセミナーハウスで行われました。合宿初日は、我々十二期が八月中旬もわからないゼロの状態から手探りで頑張ってきた奨学論文の発表だったので、みんなどきどきでした。自分たちで初めて書いた論文を先生や先輩方に指導していただくにつれ、自分たちだけでは気づかなかった論文内の矛盾点や、どう進めばいいかわからず行き詰っていた方向性が見えてきて、先生や先輩方はやはりすごい！と実感しました。そして夜の飲みでは、十二期にバリのアイドル諫早さんをゲストに向かえての恋愛トークが炸裂。洋樹の初々しい爆弾発言に美都さんも「アイタァー」の一言。美都はやはりすごかった。そして二日目の卓球大会での、先生・麻由香ペアのチームワークの良さもすごかった！春合宿・夏合宿を終え、以前よりもみんなと仲良くなっていることを実感し、心から若林ゼミナールはやはり楽しいと再確認しました。理解力のある先生や先輩方、共に頑張れる十二期の仲間に出会えたこと、本当につれしく思います。

第三回 なんたる選手権

今回は、十二期で「一番スーツの似合う人」をアンケートにより調べました。結果発表！

- 第一位 堀内 正貴（人に不快感を与えない）
- 第二位 嶋邑 公美子（アパレルばりばり）
- 第三位 川井 葉月（お茶くみ兼窓口） 虫歯0
- 番外 富野 雄介（とりたてキツすぎ）

内村君には何か贈っておきます。

双子のノンタン



若林ゼミには、ノンタンがいます。そのノンタンには、双子の姉、アサチャンがいます。二人はとっても仲良し。二人は、いつも一緒。ノンタンはアサチャンが大好き。だから、お風呂だつて一緒に入ります。それは、小学校のときも、中学校のときも・・・？



編集後記 ということ

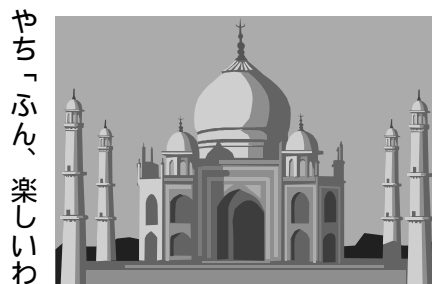
インドの話

やち「ひゃひゃひゃひゃひゃ。いいの出来ちゃったねー、編集長。」

まみ「そだね、そだねー。だねー。」

やち「100%ドキドキ！？」

まみ「よし、のった！」



やち「ふん、楽しいわ。楽しい。」

まみ「シユウ・・・」

やち「会社つくろつ。二人で会社つくろつ。」

まみ「どこで？」

やち「インドー！！！」

こうして二人はインドに旅立ちました・・・

☺

女女女女女
やちやちやち

